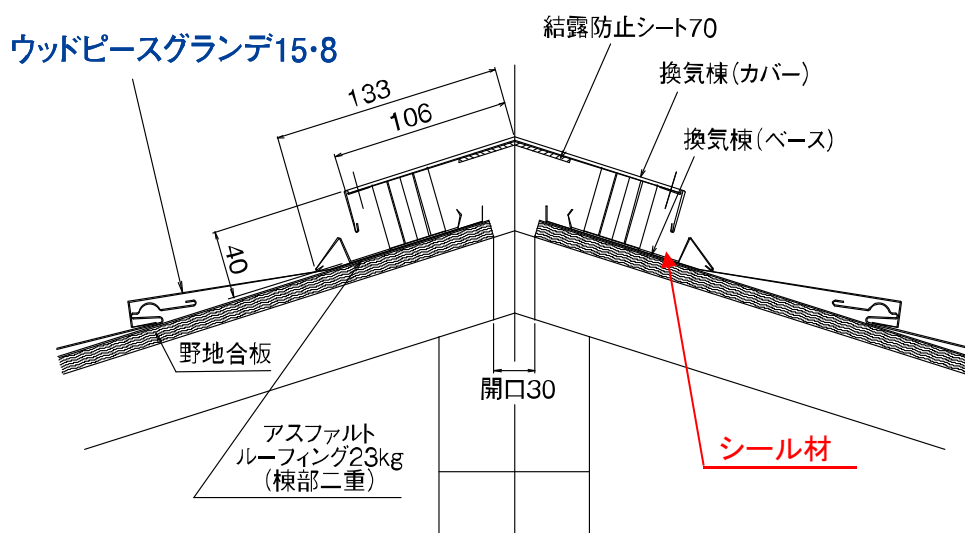
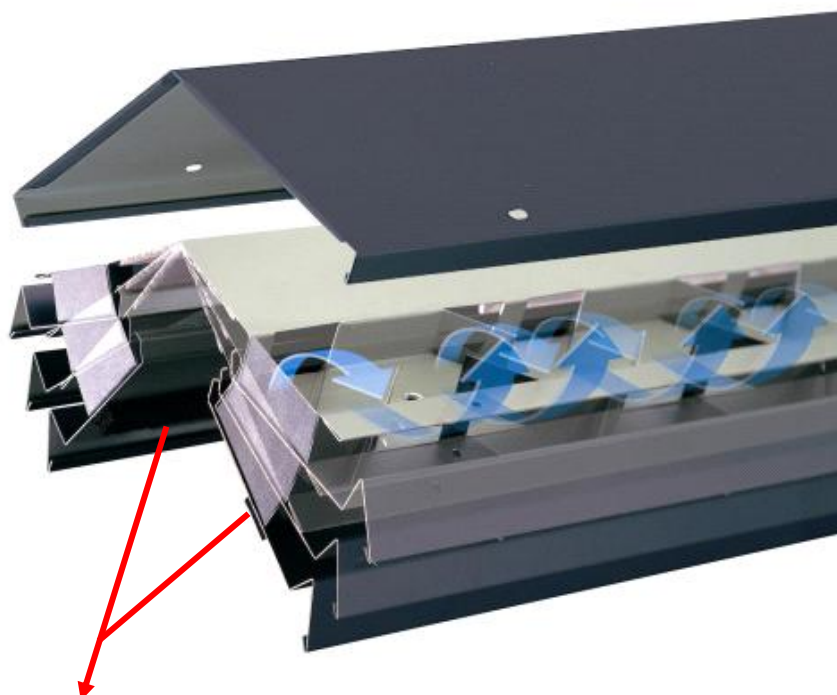


【換気棟「デカクタ」の特徴】

◆ 1. 防水の納まりについて



上図のシール材にエプトシーラーを採用。
換気棟と屋根材の隙間をエプトシーラーにより、
防水性を高めている。



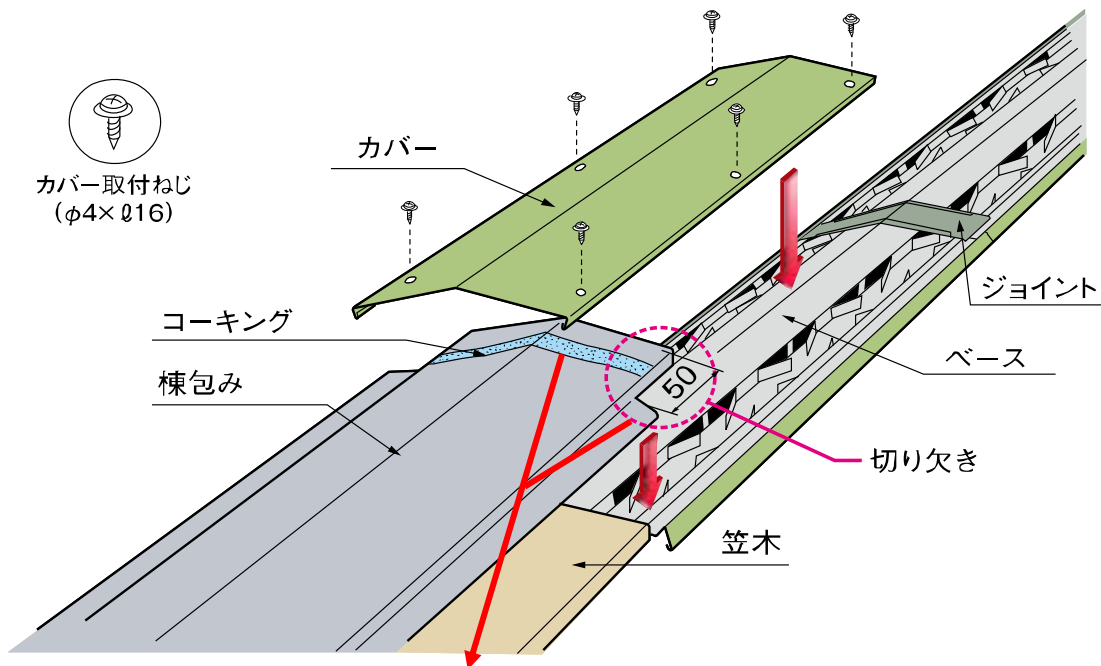
◆ 弊社換気棟には、エプトシーラーを採用

<エプトシーラーの特長>

- ・ EPDM系の発泡体ですので、耐熱性・耐水性・耐薬品性・耐久性にすぐれています。
- ・ 柔軟な発泡体のため、外壁(モルタル・塗装・パネル)の凹凸によくなじみます。
- ・ 80%以上の圧縮率で、高い水密効果が期待できます。

◆ 2. 端部の納まりについて

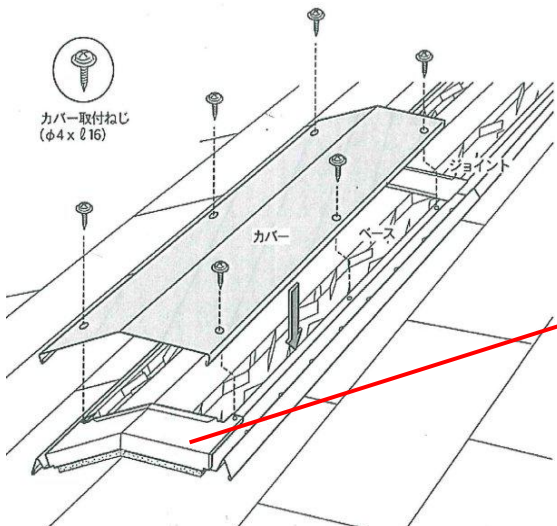
①. 棟包みと接続する場合



◆ 換気棟端部へのコーキング処理

棟包みのツバ部分を50mm程度切り欠き、デカンタのベースに被せる。重なり部にコーキングで防水処理を施す。

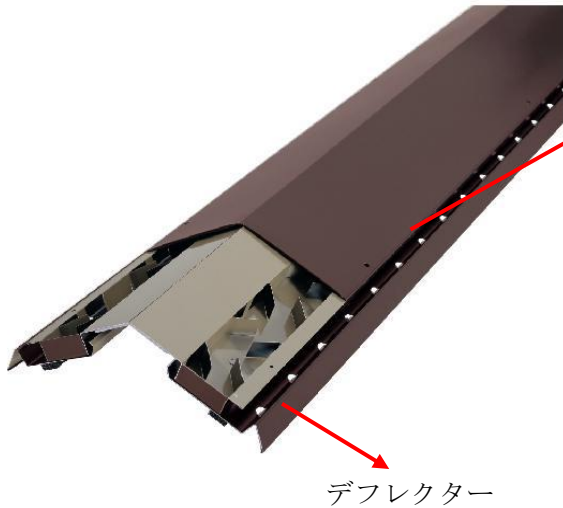
②. エンドキャップを使用する場合



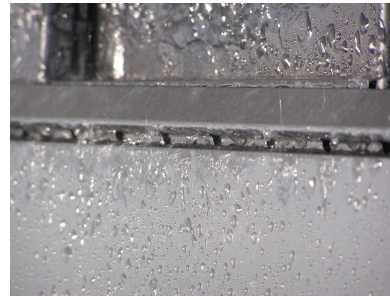
端部の納まり

専用のエンドキャップが有り、左図の様にベース本体とカバーの間に取付られる。屋根面と接触する部分には、本体同様にエプトシーラーが施されている。

◆ 3. 水抜き孔について



水抜き孔：φ10mm孔→50mmピッチ



デフレクター

独自の構造により、大きな換気能力を実現する「デカンタ」。デフレクターの搭載により、雨の侵入を防ぐ安全設計です。棟包み部材とスッキリ接続できるので、スマートな棟部を実現します。

デフレクターにより、殆どの風雨は上方に舞い上がると共に水抜き孔によって本体内部への雨の侵入を防ぐ構造になっている。

長さ	有効換気孔面積/本	適応天井面積/本	防水性能試験(※)		適応屋根勾配
			風速	降雨強度	
909mm	187.5cm ²	30.0m ²	30m/s	240mm/h	2.5~10寸
1818mm	375.0cm ²	60.0m ²			

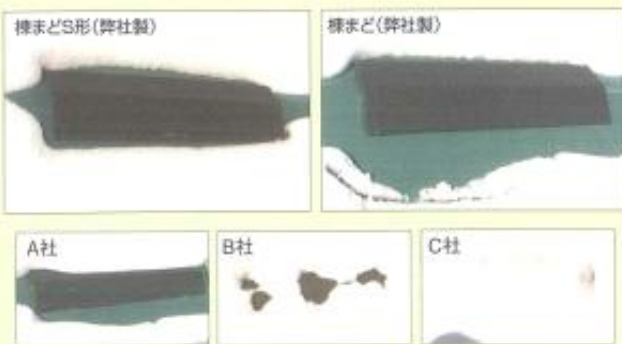
※(財)建材試験センターの防水性能試験結果

◆ 4. 適用地域について (寒冷地域など)

- ・多雪地域を想定し、積雪3mに相当する荷重にも変形は見られない。
 - ・秋田県大山市にて施工テストを実施。下図の様に雪を溶かすほど換気状況は良好であった。
 - ・また、スガ漏れや粉雪の舞い込みも認められなかった。
 - ・寒冷地に於ける採用実績も多く有り、現在までのところ不具合はない。
- ※下記は、デカンタ(棟まど)と性能が同等のタニタハウジングウェア製換気棟の試験結果です。

カタログ抜粋

雪国でも検証しました。棟まどの実力。 ■多雪地域で十分な高性能が実証されました



豪雪地帯・秋田県大仙市で対積雪性能についての実施試験結果

試験場所：秋田県大仙市内
 試験期間：2000年12月～2001年3月末日
 試験方法：風雪の激しい環境の平家一戸建屋根部分に換気棟を設置
 試験品：●タニタハウジングウェア「棟まど・棟まどS形」
 ●他社製品3点

	風雪時の粉雪の舞い込み	積雪時の換気状況	スガ漏れの有無	積雪時の対雪重性能(粉による代替テスト)
棟まど/棟まどS形	無し(目視確認)	良好	無し	積雪3mに相当する荷重にも変形は見られない

※同時に試験施工した他社製品に比べ、雄断の高性能を発揮した。

(データ)日産深積雪10cm以上の日数の月別平均値
 地点:秋田県 12月:4.5 1月:15.3 2月:17.4 3月:4.8
 (1971年から2000年までの平均値 資料:気象庁2005年国立天文台編)